

| ＜ もくじ ＞ | |
|---------------------------------------|-----|
| 1. 2017年度定時総会・第16回大会開催のお知らせ | 1 |
| 2. 北海道部会 市民講座 <自分らしく生き抜く力を養う> 開催のお知らせ | 2 |
| 3. 研究会からのお知らせ | 2～3 |
| 4. 各研究会の概要報告 | 3～4 |
| 5. 『エイジレスフォーラム』バックナンバー販売について | 4 |

1. 2017年度定時総会・第16回大会開催のお知らせ

日 程：2017年6月18日（日）（第一部《総会》10時～、第二部《大会》11時～）
会 場：お茶の水女子大学 本館 306室（東京都文京区大塚）

2017年度大会は、「持続可能な超高齢社会をめざして」の基本テーマを掲げた第3期3ヶ年計画の2年目に当たります。昨年の第1年目で「現代日本の格差と貧困」の現状を認識したあと、今年は日本社会の将来に目を向けて「分断社会を超えて」というテーマで展開します。世界と日本における市場経済の動きと財政の仕組みによって生じた分断状況を明らかにし、超高齢社会と女性の社会進出状況に適応しつつ分断を克服しうる社会の基本的あり方を探りたいと思います。基調講演は、井手英策慶應義塾大学教授です。多くの方のご参加をお待ちしております。

第16回大会テーマ：「分断社会を超えて—持続可能な超高齢社会をめざして2—」

- ◆ 一般報告：地域での活動から（11：00～12：00）
長田理事の司会で、松村 治、小平陽一、野坂 真の会員各氏からご報告をいただきます。

＜基調講演とシンポジウム＞（12：50～16：30）

- ◆ 基調講演（13：00～14：00）
講 師：井手英策（慶應義塾大学 教授） テーマ：分断社会を超えて
- ◆ シンポジウム（14：15～16：20）
テーマ：「分断社会を超えて—持続可能な超高齢社会をめざして2—」
袖井会長の司会進行で、庄司洋子（立教大学名誉教授、NPO 法人学生支援ハウス理事長）、来栖 香（キューアンドエー株式会社 広報・秘書部）、菊地 謙（ワーカーズコープちば専務理事、フードバンクちば代表）、井手英策（慶應義塾大学教授）の各氏 にパネリストをお願いし、意見交換、フロアー討論を行います。
- ◆ 懇親会（17：00～18：30）
会員、非会員を問わず各地域で活躍している方々との意見交換や、いろいろと参考になることも率直に聞ける場ですので、是非ご参加ください。

また、長い間お世話になったお茶の水女子大学での開催も今年で最後になります。来年度からは、駒澤大学での開催になる予定です。

＜事務局からのお願い＞

★ 総会・大会への案内状および出欠ハガキを5月10日ご送付いたします。本年は6月1日に郵便料金が改定されるので、返信葉書は5月28日までにご投函ください。

総会にご欠席の方には、委任状と総会の議案への賛否を示していただく欄が ございますので、そちらへのご記入もお忘れのないようお願いいたします。また、ときに、記名欄にご記入のない方がおられます。くれぐれもご注意ください。

2. 北海道部会 市民講座 <自分らしく生き抜く力を養う> 開催のお知らせ

よりよい社会を後代に残すさまざまな試みは、自分らしく生き抜く力を養う 大きな糧です。この集いが自立を確認する機会になることを願っています。

- 1) 日 時：2017年6月22日（木）13:30～15:30（開場13:00）
 - 2) 場 所：札幌市教育文化会館 小ホール
札幌市中央区北1条西13丁目（TEL011-271-5821）
 - 3) 参加費：無料（先着300名さま）
 - 4) テーマと講師（順不同）
 - (1) 加齢に伴う体の変化について
北海道大学理事・副学長、北海道大学大学院医学研究院 教授 笠原 正典氏
 - (2) 諸行無常を生きる、今、何を為すべきか
札幌大谷大学前学長 巖城 孝憲氏
 - (3) 高齢者同士の共助
北星学園大学教授 田辺 毅彦氏
 - (4) 介護の段階の大変さと健康寿命の重要性
社会福祉法人 宏友会 地域連携室推進部長 人材育成部長 菊地 伸氏
- 共催：一般財団法人人材支援機構 後援：札幌市 札幌市教育委員会

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第39回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年4月25日（火）18:00～20:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：吉野ヒロ子（帝京大学専任講師）
- 4) テーマ：「インターネット世論と災害」
- 5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター <現代の危機と共生社会> 研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料）

※お問い合わせは、福原（fukuhara@jaas.jp）迄お寄せ下さい

(2) 第101回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年4月26日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：袖井 孝子氏（シニア社会学会会長・お茶の水女子大学名誉教授）
- 3) テーマ：「人生の最終段階における意思決定について考える」
- 4) 場 所：日本労働者協同組合連合会 会議室

東池袋1-44-3 池袋 I SPタマビル 8階

※ 懇親会の予定はありません。年会費（¥2,000）を徴収いたします。

※ ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

(3) 第43回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年4月27日（木）15：00～18：00
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：濱口座長のレクチャー
— 「シニア社会のリテラシー — 『老いる権利』という考え方について」
 - 4) 参加費：300円
- ※ お問い合わせは、事務局・島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)迄お願い致します。

(4) 第40回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年5月31日（水）18：00～20：00
 - 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館3階社会学コース室（2322室）
 - 3) 報告者：田所承己（帝京大学専任講師）
 - 4) テーマ：「人はなぜコミュニティカフェに集まるのか？」（仮）
 - 5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター
＜現代の危機と共生社会＞研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所の
メンバーは無料）
- ※お問い合わせは、福原（fukuhara@jaas.jp）迄お寄せ下さい

(5) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

次回以降の研究会開催は調整中であり、決まり次第あらためてお知らせします。

4. 各研究会の概要報告

(1) 第42回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2017年3月23日（木） 15：00～18：10
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：①濱口座長のスピーチ：
シニア社会のリテラシー 『老いる権利』という考え方について
②「新聞の切り抜き」計画についての意見交換
- ・濱口座長のコメントとして、「老いる権利」は、憲法第9条、第11条、第13条、第25条を論拠にしていること。老いるという概念をエイジングと考えるならば、0歳児が1歳、2歳になるのも老いることであり、「老いる権利」とは国民の権利であると言える。「持続可能な超高齢社会」の品質証明として「老いる権利」を言おうと考えている。新聞切り抜き計画については、テーマを特定化しそれを深め、研究会の場で論議を進めることにしたいと述べられた。
- ※ お問い合わせは、事務局・島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)迄お願い致します。

(2) 第38回「災害と地域社会」研究会の概要報告

- 1) 日 時：2017年3月27日（月）18：00～20：00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館5階第5会議室
- 3) 報告者：野坂 真（早稲田大学大学院文学研究科社会学コース博士課程）
- 4) テーマ：「災害と共に生きる地方社会—岩手県大槌町における地域の記憶継承に向けた取り組みから」
- 5) 報告概要：
野坂 真さん（会員）は、東日本大震災の翌年から今日に至るまで、ほとんど毎週、岩手県

大槌町に足を運び、安渡地区での災害復旧から復興の過程を見続けるばかりでなく、自らボランティアとして安渡地区の復興過程に参加してきました。そして、町の復興計画、産業復興、住民たちの生活再建に沿った経緯を見守る中、「安渡地区防災検討会」、「安渡地区アーカイブ（生きた証プロジェクト）」などへの参加を通して、地域社会の記憶を掘り起こす取り組みにかかわってこられ、その活動の意義と課題をまとめる作業に入っております。今回の報告は、大槌町安渡地区における、震災を契機に生じた、①復興(防災)計画と生活再建のロジックの間のズレ、②住民層ごとの生活構造の違いによる再建への取り組みの間のズレ、③震災前の地域振興の方向性と災害後の復興の方向性のズレなどが、「災害と共に生きる地域社会」の共同性を分断させてきたことに注目し、これまで続けてきた「安渡地区アーカイブプロジェクト」と「生きた証を記録し語り継ぐ会」の活動の意義を、地域の記憶継承を通じて「災害と共に生きる地域社会」の共同性を創出する課題へつなげて行く道筋を見出そうとする試みです。海辺で暮らす人びとが漁業と海産物の加工に依存してつくり上げてきた地域の共同性の分断を前に、震災前の過去の記憶を掘り起こしながら、災害と共に生きる未来の地方社会の共同性を新たにつくりだしていくことに、寄与できる研究成果がまとまることを期待しています。
(長田記)

5. 『エイジレスフォーラム』バックナンバー販売について

『エイジレスフォーラム』バックナンバーを販売いたします。

残部数の少ない号もございます。会員は勿論のこと 個人（会員外）にも対応致しますので、バックナンバーの販売にご協力をお願いします。

『エイジレスフォーラム』は、シニア社会学会の機関誌で、学会設立から2年後の2003年に創刊。毎号、6月の大会の収録記事、各分野の専門家の講演や公開講座など、シニア社会学会の活動の数々を収録、掲載しております。

各号の詳細は、シニア社会学会のホームページURL <http://www.jaas.jp>（機関誌・研究成果）を参照下さい。

<販売バックナンバー>は、

◆創刊号（2003年発行）～ 第13号（2015年発行）までの各誌。

◆価格・・・1部 ¥500（送料込）

◆支払方法・・・『エイジレスフォーラム』と同封の振込用紙にてお振込みください。

◆ご購入ご希望の方は、下記シニア社会学会事務局宛に、e-mail又はFAXにて、ご希望のバックナンバーをご連絡ください。

◆連絡先 〒150-0002

東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

一般社団法人シニア社会学会 事務局

電話・FAX 03-5778-4728

e-mail jaas@circus.ocn.ne.jp

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>